

## 第4回「小田原市地域包括ケア推進事業」検証委員会議事録

日 時：平成24年3月21日（水）

午後4時～5時30分

場 所：市役所 3階 301会議室

出席委員 谷口政隆委員、島津淳委員、時田純委員、木村貞雄委員、下澤禮二委員、福祉健康部長、福祉健康部副部長（欠席：岩崎臣男委員、小澤優樹委員）

事務局 高齢介護課長、高齢介護課副課長、高齢介護課高齢社会係長、  
高齢介護課主査1名

オブザーバー 小田原福祉会 施設長 佐野光子、事務長 我妻秀明、管理者 遠藤奈由巳

座 長 谷口政隆委員

### 【議事】

#### 議題2（1）24時間対応定期巡回・随時対応サービス事業の最終報告について

オブザーバー

（説明）

- ・資料「24時間対応定期巡回・随時対応サービスモデル事業報告書」をもとに説明。

島津委員

（質問）

- ・7ページの訪問看護の役割について、介護保険制度では常勤換算で2.5人の配置となっているが、実態から見て2.5人も必要なのか。

オブザーバー

（回答）

- ・訪問看護ステーションを運営する上で2.5人必要ということであり、潤生園で2.5人確保することは不可能である。潤生園で確保できなくても訪問看護の連携先があれば十分対応できる事業である。
- ・この地域では看取りなどで往診医療ができており、看護師の意識が違う。

谷口委員

（意見）

- ・この事業成果を、事例を含めて公表してもよいと思う。契約をしているだけで利用者の不安が消えている。また自宅で看取りができたということは効果大である。
- ・介護保険制度はサービス利用者側よりもサービス供給側の効果性の追求からつくられているものであるが、この事業は、「今日も良い一日だった」というような主観的ウェルビーイング

グを生み出す効果を持っている。

**時田委員**

(意見)

- ・今までの訪問介護とは違う仕組みのサービスである。従来の訪問介護は時間の調整やサービスの中身まで決まっていたが、このサービスは現場に裁量を与えていた。ようやく役に立つサービスができたと感じている。

**谷口委員**

(意見)

- ・通院直後、訪問回数を増やしたことで退院促進ができる。

**福祉健康部長**

(質問)

- ・利用者本人の感想は。

**オブザーバー**

(回答)

- ・誰かが来てくれるという安心感があるとか、服薬を一緒におこなうことで間違った薬を飲んでしまうようなミスもなくなった。また、うつ気味な人が、ヘルパーが来る前に自分で排泄を済ませるなど自立心が出てきている。

**時田委員**

(意見)

- ・訪問看護と連携をとるというより、看護師によるアセスメントが必要である。これが制度改革のポイントである。

## 議題 2 (2) 集合住宅等に居住する要介護者等に対する総合支援事業の最終報告について

**オブザーバー**

(説明)

- ・資料「集合住宅等に居住する要介護者等に対する総合支援事業最終報告書」をもとに説明。

**谷口委員**

(意見)

- ・足湯が鍵になっている。

#### オブザーバー

(意見)

- ・「ふれあい処 ひとやすみ」の前を行ったり来たりしている人がおり、こちらから本人に声かけをして足湯を紹介し利用してもらっている。
- ・基礎体温が上がった、夜中トイレにいけなくなったなど、健康面でよくなったという話を聞いている。

#### 島津委員

(質問)

- ・55 ページで「このモデル事業は潤生園だからできたのではないか」ということだが、市はこの事業を、介護予防・日常生活支援総合事業の中で実施していく予定はないのか。

#### 事務局

(回答)

- ・この事業はケアタウン事業でも実施している事業であり、「ふれあい処 ひとやすみ」は平成 24 年度については、潤生園さんの協力を得て運営していただくこととなっている。
- ・介護予防・日常生活支援総合事業については実態がつかめていないので、第 5 期では先進的事例を参考にしていこうと考えている。

#### 福祉健康部長

(回答)

- ・現在 5 箇所で開催しているケアタウン事業は、平成 24 年度から 10 箇所にする予定であり、この事業と同様の事業ができることを期待している。介護保険制度の中ではなく、市の一般施策として考えている。

#### 谷口委員

(質問)

- ・ケアタウン事業には、障がい者も対象となっているのか。

#### 福祉健康部長

(回答)

- ・今は高齢者が主体となっているが、プライバシーの問題もあり、障がい者、母親、子供にまで波及はしていない。なんとか広げていきたい。

### 議題 2 (3) 平成 24 年度以降の事業方針について

#### 事務局

(説明)

- ・口頭で説明。

**下澤委員**

(説明)

- ・資料「「ささえあいセンター東富水」開設のお知らせ」と「東富水地区幸せづくりアンケートの結果について」をもとに説明。

**時田委員**

(意見)

- ・木村委員や下澤委員の働きはすばらしいものがある。

**下澤委員**

(意見)

- ・アンケートでは買い物をお願いしたいという意見が多かった。

**谷口委員**

(意見)

- ・宅配とかはできないのか。

**木村委員**

(意見)

- ・5月頃から始めるという話が出ている。
- ・通学途中、高齢者宅の新聞や牛乳がたまっていないか確認してもらうよう中学生にお願いしている。
- ・下澤委員は親の介護をしており、そういう経験がないとなかなか取り組めることではないと思う。
- ・2年間モデル事業を実施してみて、どうバトンタッチができるのか気にはなっていた。

**谷口委員**

(意見)

- ・東京都北区の状況から考えるとうらやましい。北区は地域がバラバラになっている。

**下澤委員**

(意見)

- ・高齢者のアンケートによると、少しでもお金を負担するほうが気持ち的には楽だと言っていた。
- ・トラブルが発生した場合のことを心配している。

以上